

県民幸福度の向上に向けた 取り組みについて

令和5年8月9日

知事戦略部 戦略企画課 総合計画・EBPM推進室

本日報告する内容

目次

- I. 新・群馬県総合計画について
- II. 幸福度アンケートについて
- III. 幸福度レポートについて
- IV. 今後の展望について

I.新・群馬県総合計画について



I .新・群馬県総合計画について

② 目指す姿 - 3つの幸福 (3/3)

3つの幸福を調和させる鍵は、
自分の存在や挑戦が、応援されている、祝福されていると
実感できるコミュニティ。

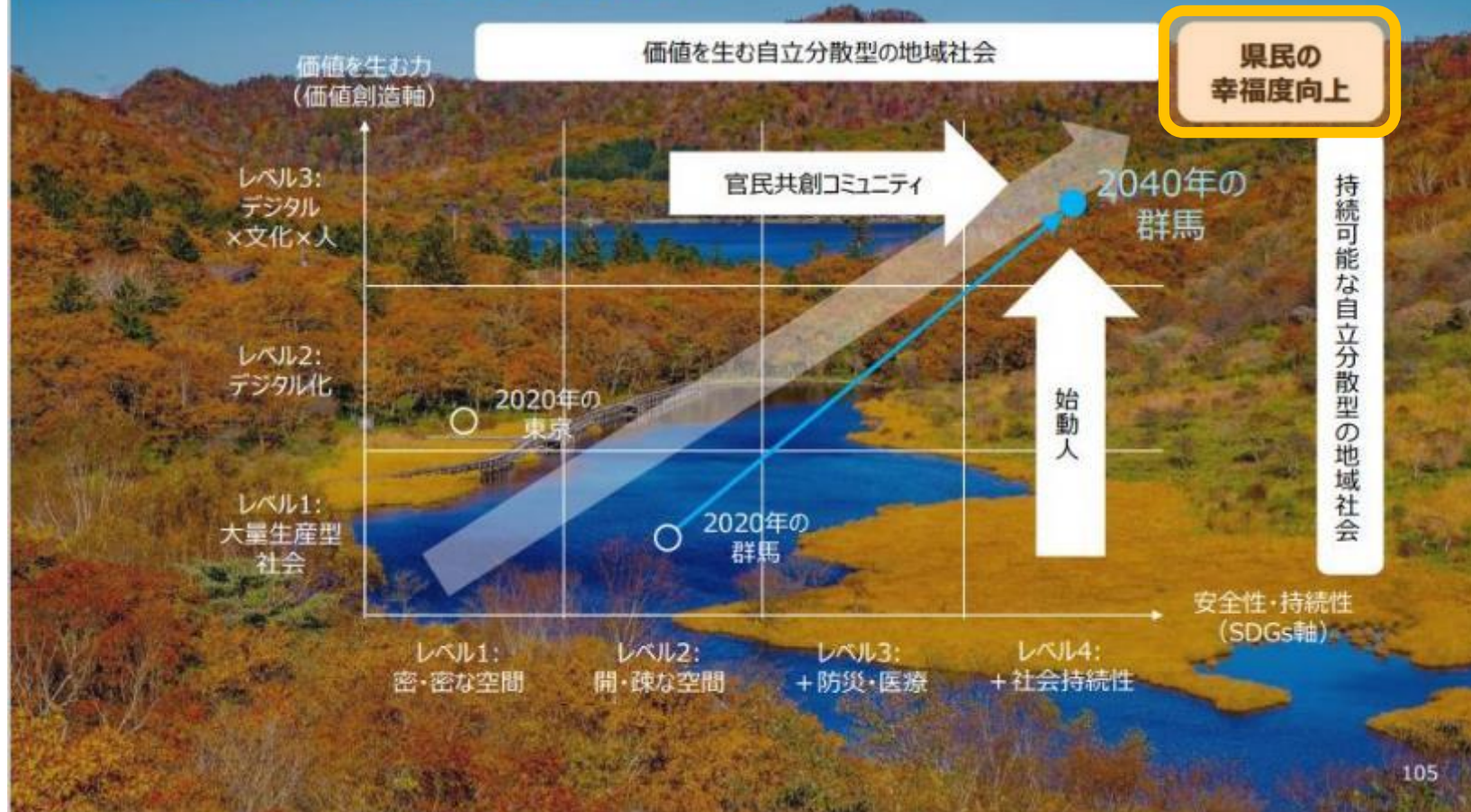
すべての県民にとって、
イノベーションへの挑戦の場となり、安心感のある居場所にもなる
そんなコミュニティを県内にたくさん育てていく。

私たちが目指すのは、
「年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、すべての県民が、
誰一人取り残されることなく、自ら思い描く人生を生き、
幸福を実感できる自立分散型の社会」

I.新・群馬県総合計画について

③ 実現へのロードマップ - 2つのイノベーション (2/2)

2つのイノベーション（官民共創コミュニティ・始動人）が交わることで、地域が自ら走り出す。



I.新・群馬県総合計画について

県民幸福度向上に向けた政策展開の基盤として、①県民幸福度の見える化、②県民幸福度と県施策との関連等の分析、③幸福度の変化や施策への活用状況の継続的把握を実施。

県民の幸福度向上

EBPM

○県民幸福度レポート

○独自調査（県民幸福度アンケート） 実施による把握【主観的指標】

- ・主観的幸福感
- ・幸福かどうかを判断するときに重視した事項
- ・「新・群馬県総合計画(基本計画)」に掲げる19の政策分野ごとの施策実感

R4国費活用

○既存の統計データの活用による把握【客観的指標】

- ・新・総合計画のロードマップに掲げるKPIやSDGsローカル指標を中心とした、幸福度に関連する統計データ

Ⅱ.幸福度アンケートについて

R4実施時

実施内容・目的

EBPM

令和4年度
「県民幸福度アンケート」
調査結果報告書

令和5年3月
群馬県

- ◆ 幸福度の現状を「見える化」するため、統計データ等の客観的指標に加え、県民に対し幸福実感や施策実感に関するアンケート調査を行うことで、主観的幸福感を指標化する。
- ◆ 有限の資源で効果的・効率的に県民幸福度向上に資する政策を立案するため、主観・客観の両指標から現状分析を行い、政策立案に活用する。R4実施結果は令和5年度に「群馬県幸福度レポート」として公表予定。

Ⅱ.幸福度アンケートについて

R4実施時

調査概要・内容

◆ 調査概要

実施時期：令和5年1月10日～2月7日

対象者：県内在住満18歳以上 3,300人(選挙人名簿を用いた層化二段無作為抽出)

調査方法：郵送配布、郵送・WEBアンケートシステムによる無記名回収

有効回収数：1,568件（有効回収率47.5%）

◆ 調査内容

(1) 質問項目：本質問14問（実質問数79問）

ア. 県民の主観的幸福実感についての項目：本質問8問（実質問数34問）

イ. 19政策分野ごとの施策実感についての項目：本質問1問（実質問数40問）

ウ. 特定の施策についての項目：本質問5問

(2) 回答者属性：質問10問

Ⅲ.幸福度レポートについて

R4実施時

実施内容・概要

EBPM



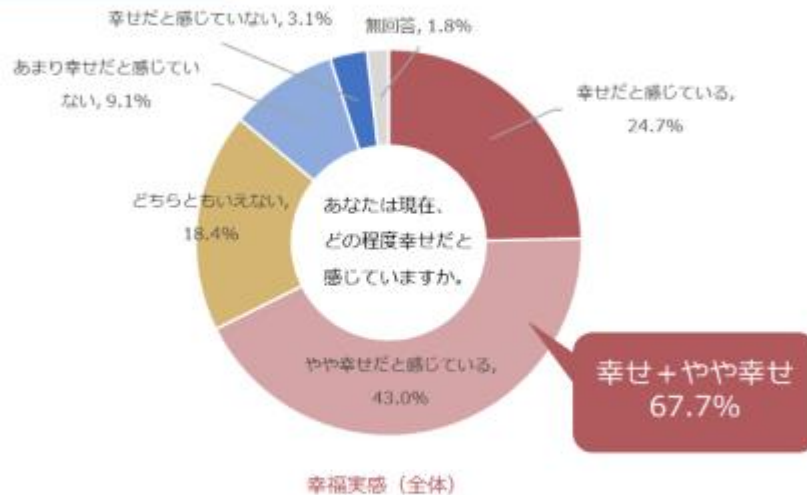
- ◆ 群馬県が目指す社会の幸福を県民に対し伝えるとともに、幸福度の見える化による県民幸福度の現状や県の施策について広く伝える。
- ◆ 毎年度、継続的に作成し、主観的指標（アンケート）のほか、客観的指標も用い、経年の変化や施策への活用状況等を把握・分析し、公表。
- ◆ 公表時期：令和5年3月
R5年度のレポートで、R4に実施したアンケートをベースに分析。R5年度中に公表予定。

分析：主観的幸福感

2.2 主観的幸福感

1. 幸福実感

全体



◆ 幸せ + やや幸せの回答割合は67.7%

→ 分かりやすい指標ではあるが、レポートでは、主観的幸福感のみでなく、客観的な指標でも分析
(レポートの作成目的の一つ)

「あなたは現在、どの程度幸せだと感じていますか。」という設問に対し、「幸せだと感じている」と「やや幸せだと感じている」の回答を合わせた『幸せだと感じている』の回答割合は**67.7%**でした。一方、「幸せだと感じていない」と「あまり幸せだと感じていない」の回答を合わせた『幸せだと感じていない』の回答割合は12.2%でした。

分析：政策分野ごとの分析

2.3 19の政策分野ごとの分析

群馬県では、「新・群馬県総合計画（基本計画）」において2030年度までの重点施策を19の政策分野に分け、体系化しました。本節では、それぞれの分野について、県民幸福度アンケートにより把握する施策実感（主観的指標）及び各種統計データ等で把握する客観的指標から現状分析を行うとともに、今後の取組の方向性を示します。

1. 19の政策分野と施策実感一覧

分野	政策分野ごとの施策実感に関する設問	施策実感	
		R2年度	R3年度
1 地域政策	移住者を受け入れる土壌があると感じますか	56.3	56.2
	近隣住民同士が困ったときには助け合える地域環境があると感じますか	56.9	55.9
2 スポーツ	運動やスポーツに取り組むことができる環境が整っていると感じますか	58.7	57.0
	運動やスポーツを観戦する機会が充実していると感じますか	48.3	48.8
3 文化	群馬の歴史文化に誇りを感じますか	62.4	63.3
	芸術を鑑賞したり、文化活動に参加できる場が整っていると感じますか	53.0	52.6
4 こども	安心して子どもを産み育てられる環境が整っていると感じますか	56.1	55.7
	子育てをしながら働き続けられる環境が整っていると感じますか	43.3	49.3
5 生活	性別や年齢、障害の有無、国籍などにとられず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できていると感じますか	46.5	46.9
	ボランティアや市民活動に取り組みやすい社会であると感じますか	48.9	49.6
	消費者としての安心・安全が図られていると感じますか	60.9	59.4
6 健康	健診や生活習慣病対策など健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境が整っていると感じますか	57.8	58.9
	自主的な健康づくりを促すための支援が充実していると感じますか	50.2	51.3
7 医療	必要な医療サービス（在宅医療なども含む）を受けられる体制が整っていると感じますか	53.2	53.4
	救急医療体制が整っていると感じますか	57.0	57.5
8 福祉	介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境があると感じますか	52.3	52.4
	悩みや不安、つらい気持ちを抱えた人がいつでも相談できる環境が整っていると感じますか	42.8	41.9

分野	政策分野ごとの施策実感に関する設問	施策実感	
		R2年度	R3年度
9 環境	地球温暖化防止のため再生可能エネルギー（太陽光発電や水力発電など）の普及や利活用されていると感じますか	46.3	44.2
	ふだんの暮らしの中で食品ロスを減らすための行動（期限が近い商品の購入など）が定着していると感じますか	43.3	43.2
10 森林・林業	公共施設や住宅などに県産材等の木材が使われていると感じますか	41.5	40.9
	群馬県では、森林の管理や利用が適切にされていると感じますか	42.8	44.3
11 農業	群馬県では、農林水産業の担い手の確保・育成が十分に行われていると感じますか	40.4	40.9
	群馬県産の農林水産物がブランドとして評価され、県内外に販路が拡大していると感じますか	53.0	50.9
12 産業経済	群馬県内の企業や職場では、働きやすい職場環境が整備されていると感じますか	44.4	44.8
	群馬県には、十分な収入を得ることができると感じますか	40.7	41.5
13 観光・コンダング	群馬県では、魅力ある観光地づくりが進んでいると感じますか	49.8	49.6
	群馬県には、海外からの観光客にとって魅力的だと感じられる観光地があると感じますか	57.2	58.1
14 国土整備	鉄道・バスなどの公共交通機関が利用しやすいと感じますか	28.7	30.2
	自動車、自転車、徒歩等により、安全で快適な移動ができる道路空間が整備されていると感じますか	45.1	44.8
15 防災・危機管理	地震、豪雨、暴風、火山噴火などの自然災害への防災・減災対策や火災への防火対策が備わっていると感じますか	56.1	55.9
	災害時に必要な情報提供を受けられる体制が整っていると感じますか	52.9	53.5
16 教育	子どもたちが自分の力で未来を考え、率先して行動できる力を身につけられる教育がされていると感じますか	46.3	45.6
	教育の充実を図るためにデジタルの活用を進める取組がされていると感じますか	45.8	51.2
17 防犯・交通安全・食生活衛生	治安がよく安心して生活できると感じますか	66.7	66.1
	群馬県では、安心・安全な食品・農産物が提供されていると感じますか	51.7	51.3
18 国際	群馬県では、安心・安全な食品・農産物が提供されていると感じますか	66.9	66.4
	外国人と日本人が国籍・民族・文化の違いを理解し、認め合って暮らすことができていると感じますか	49.1	49.2
19 行政改革	群馬県の文化、産業、観光などの魅力が広く世界に発信され、認められていると感じますか	45.2	45.5
	行政手続きがデジタル化され、利便性が高まっていると感じますか	42.3	44.4
	群馬県では、新たな価値やビジネスを創出するために、行政と民間が連携・協力する体制が整っていると感じますか	40.8	42.1

① 上昇：令和2年度と比較し、令和3年度アンケートでの施策実感が有意に上昇
 ② 下降：令和2年度と比較し、令和3年度アンケートでの施策実感が有意に下降
 ※ 施策実感の算出方法や上昇・下降の定義は、次ページ参照。

◆ 19の政策分野ごとに分析

R3幸福度アンケートで、有意に上昇・下降した項目を強調

分析：各分野ごとの分析 (1/2枚目)

健康 (相談・支援体制)

1. 背景・これまでの取組

人生100年時代を見据え、誰もがより長く元気に活躍できる「活力ある健康長寿社会」の実現のためには健康寿命の更なる延伸が求められ、国の「健康寿命延伸プラン」では2040年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し75歳以上とする目標を立てています。本県でも2025年までに男性73年、女性76年を目標とし、活力ある健康長寿社会実現のための政策ビジョン「群馬モデル」に基づき、健康寿命延伸対策を強化し推進します。

2. 施策実感

施策実績 平均：50.4 (前年度 50.0)

設問 健康や生活習慣病対策など健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境が整っていると感じますか

施策実績 **58.9** (前年度 57.8) ▲増加

設問 自主的な健康づくりを促すための支援が充実していると感じますか

施策実績 **51.3** (前年度 50.2) ▲増加

性別

性別	満足	やや満足	やや不満足	不満足
男性	44.4	36.2	15.4	4.0
女性	61.0	24.0	13.0	2.0
※世帯平均	58.1	34.4	11.0	0.0

年代別

年代	満足	やや満足	やや不満足	不満足
10代	52.7	43.0	24.3	0.0
20代	58.0	40.3	21.0	0.0
30代	45.0	39.2	15.0	0.0
40代	55.0	41.0	13.0	0.0
50代	43.0	39.0	17.0	0.0
60代	58.7	33.0	14.2	0.0

性別

性別	満足	やや満足	やや不満足	不満足
男性	38.0	46.0	16.0	0.0
女性	52.0	44.7	21.0	0.0
※世帯平均	46.0	39.0	15.0	0.0

年代別

年代	満足	やや満足	やや不満足	不満足
10代	52.0	41.0	25.0	0.0
20代	56.2	43.4	20.4	0.0
30代	39.0	40.0	21.0	0.0
40代	34.0	46.1	20.0	0.0
50代	36.0	34.0	20.0	0.0
60代	38.0	40.0	22.0	0.0

地域別

地域別

- ◆ 各設問ごとに
 - ・ 性別
 - ・ 年代別
 - ・ 地域別 等の属性分析を実施

Ⅲ. 幸福度レポートについて

R4実施時

分析：各分野ごとの分析 (2 / 2 枚目)

3. 客観的指標の動向							
凡例 一人：一人ひとりの幸福、社会：社会全体の幸福、将来：将来世代の幸福							
指標名	3つの幸福	KPI該当	単位	直近の値	前年度レポート掲載値	(参考)	
						直近全国平均値	全国順位
健康寿命	一人	○	男性 女性 年	更新なし	73.41 75.80 (R1年度)	72.68 75.38 (R1年度)	6位 17位
喫煙率	一人	-	%	更新なし	19.7 (R1年)	18.3 (R1年)	37位
BMIの平均値(男女別)	一人	-	男性 女性 Kg/ m2	更新なし	24.1 23.0 (H28年)	23.8 22.6 (H28年)	15位 10位
人口1人あたりの国民医療費	社会	-	千円	329.1 (R1年度)	322.7 (H30年度)	351.8 (R1年度)	12位
後期高齢者1人あたりの医療費	社会	-	円	868,799 (R1年度)	862,667 (H30年度)	954,369 (R1年度)	16位
平均寿命	一人	-	男性 女性 年	81.13 87.18 (R2年)	80.61 86.84 (H27年)	81.49 87.60 (R2年)	33位 40位
平均歩数	一人	-	男性 女性 歩/ 日	更新なし	6,964 6,430 (H28年)	7,779 6,776 (H28年)	37位 30位
健康診査受診率	社会	-	%	更新なし	54.9 (R1年度)	55.3 (R1年度)	21位

4. 分析

- 主観的指標である「健診や生活習慣病対策など健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境が整っていると感じますか(①)」及び「自主的な健康づくりを促すための支援が充実していると感じますか(②)」の設問の施策実施感は、前年度から横ばいでした。ただし、属性別分析において、設問①の施策実施感で30代と40代で『感じる』と回答した割合が大幅に上昇し(それぞれ+9.9ポイント、+7.5ポイント)、設問②では20代以下と40代で『感じる』と回答した割合が大幅に上昇した(それぞれ+10.0ポイント、+6.3ポイント)ことから、40代への施策の効果は比較的高いことが推測されます。
- 客観的指標のうちこの設問と関わりが深いと考えられる「BMIの平均値」「平均歩数」「喫煙率」等では、全国と比較し、本県は順位が低くなっています。これらのことから、まだ健康づくりに関心が向かない若い世代からの働きかけや、働き盛り世代への取組を特に強化する必要があることがうかがえます。
- 客観的指標のうち、医療費等は全国平均より低くなっていることから、医療サービスの効率的な提供が図られていると考えられますが、今後の少子高齢化の進展を見据え、引き続き生活習慣病予防や介護予防などの医療費適正化につながる取組を進める必要があります。

5. 今後の取組方向

- 活力ある健康長寿社会の実現を目指し、EBPM(合理的根拠に基づく政策立案)の推進を基本方針とし、政策ビジョン「群馬モデル」に基づき、県民、市町村、関係団体、関係機関、大学等と協力しながら、更に健康寿命延伸対策に取り組みます。
- 生涯を通じた健康づくりを強化し、県民の主体的な取組を進めるとともに、フレイルの概念を踏まえた健康づくりを社会全体で展開します。
- 働き盛り世代の健康無(低)関心層も含めたすべての県民が自然に健康になれるよう、「G-WALK+」を活用するなど健康づくりのための環境づくりを推進します。
- 医療保険制度の安定的な財政運営を確保していくため、医療費の適正化に向けた取組を推進します。

◆ 関係部局と一緒に、分析を実施

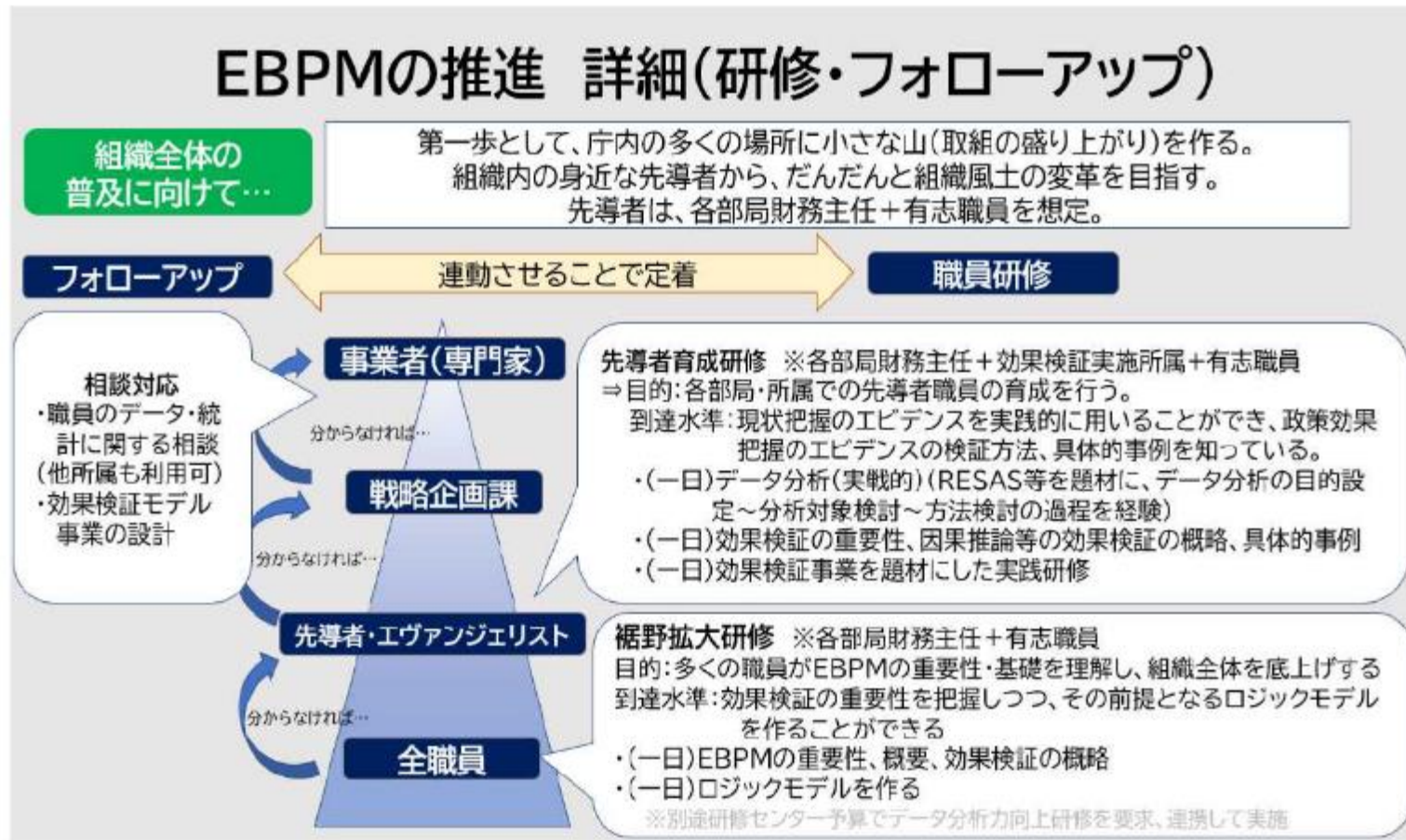
◆ 今後の取組方向も、合わせて検討

IV. 今後の展望について

- (1) 幸福度の向上と施策効果のより深い分析、
分析を政策決定に反映する流れ（EBPMとの融合）**
- (2) 各職員が幸福度アンケート結果を分析・検討できる
環境づくり**
- (3) 幸福度アンケートの項目とWell-being指標との連携**

IV. 今後の展望について

(2) 各職員が幸福度アンケート結果を分析・検討できる環境づくり



R5国費活用

EBPM

IV. 今後の展望について

(2) 各職員が幸福度アンケート結果を分析・検討できる環境づくり

新規 送信 ページの詳細 イマーシブリーダー 分析 発行日 2023/7/10 (戦企) 砂長 尚樹 さんがこのページを編集し

群馬県EBPMコミュニティサイト

発行日時: 2023/7/10

EBPMサイトへようこそ!

EBPM (Evidence-based Policy Making : 客観的根拠に基づく政策立案) を推進するために役立つ情報を集めたプラットフォームです。

Contents -目次-

- 知る・学ぶ
- データを得る
- データ可視化
- 事例を知る
- 相談する
- 通知等

What's New-新着情報- Outline -EBPMの概要と本サイトの使い方-

+ 追加

EBPM